

今年度の まちづくりのあらまし

防災力
アップ

魅力
アップ

特集／平成24年度 四日市市予算とその使い道

4月から新年度がスタートしました。本市では、皆さんからいただいた税金をどのような仕事に使うのかについて、計画(予算)を立てましたのでお伝えします。世界的な経済不況や、東日本大震災や台風による集中豪雨などのような、皆さんの生活を脅かす諸事情が発生してしまつたときに、少しでも、安全・安心を確保することを目標にしています。また、子育てや暮らしの環境を向上させるとともに、「よっかいち」を魅力あふれるまちにしていけることを目標にしています。

どんなことに、
いくら使われるの
だろう?

私たちと一緒に
四日市のお金のことを
考えてみましょう!



「期待に応えられるまち」を目指します

特に力を
いれました

- 防災力の向上
- 医療・福祉サービスの充実
- 子育て支援の推進
- 産業支援や道路の整備
- 教育のまち四日市の実現
- まちの魅力の創造・発信

計画を実現するために必要な財布は次の3つです

本市の全ての会計

一般会計

1,027億7,400万円
(前年比17億8,600万円減)

防災、高齢者の福祉、子育て、道路や公園づくり、教育、消防など、市が取り組むべき基本的な仕事をこの財布で賄っています

特別会計など

719億9,072万円
(前年比50億958万円増)

国民健康保険、介護保険、後期高齢者などの社会保障に関することや、競輪、食肉センター・食肉地方卸売市場の運営などに関する仕事をこの財布で賄っています

企業会計

565億4,949万円
(前年比6億1,823万円減)

充実した医療サービスを提供する市立病院の運営、安全でおいしい水道水の安定供給、生活環境の向上のための汚水対策や「雨に強いまちづくり」の推進などの仕事を、この財布で賄っています

合計

2,313億1,421万円
(前年度比26億535万円増)

このように
使います

ごみ処理事業の継続に取り組みます

新総合ごみ処理施設の整備

〈予算額〉4億6,794万円

老朽化の進んだ北部清掃工場に替わる、新たなごみ焼却施設を整備します。新しい施設では、プラスチックの焼却・溶融や不燃ごみ・粗大ごみの破碎処理により、埋め立て処分量を大幅に減らすことができます。また、ごみを燃やしたときの熱は発電などに有効利用することができます。平成28年度の稼働を目標にしています。



施設のイメージ図 ※実際のものとは異なります

環境にやさしい
施設なんだね



防災力の向上を目指します

新 津波からの避難施設の整備

〈予算額〉7,170万円

津波による浸水が予測される場所がある地区の小・中学校6校に、より多くの市民が避難できるよう屋外階段・屋上手すりなどを整備します。また、小学校12校、中学校7校の校舎内に備蓄物資を保管します。

富洲原地区連合自主防災隊
隊長 水谷 武彦さん



富洲原に古くから住む人は、伊勢湾台風のトラウマがあり、水害への危機意識が非常に強いです。富洲原地区は全て、津波避難目標ラインより海側になりますが、今回、学校の屋上を避難場所として整備されることとなりうれしく思います。学校が安全な場所になり、子どもたちが大丈夫だと、保護者も安心して行動できます。今年度の防災訓練では津波避難訓練を盛り込み、学校まで逃げるには何分かかかるのか計りたいと思います。

こんな取り組みも行います

- 自主防災組織への活動支援に…………… 2,920万円
- 小・中学校やあさけプラザの体育館、文化会館展示棟の吊り天井落下防止対策に…………… 2億5,251万円
- 災害時に有線回線が途絶した場合にも通信可能となる防災行政無線の整備に… 1億6,693万円

医療・福祉サービスを充実します

市立四日市病院病棟増築と改修工事

〈予算額〉19億3,852万円

患者さんに高度な医療を提供するとともに、より快適に療養いただくため、平成22年度から病棟の増築や改修工事を行っています。平成24年度は、5月から増築棟の供用を開始するとともに、6人床病室の4人床化などの改修工事を実施し、平成25年度内の完成を目指します。

市立四日市病院ボランティア
ふれあいグループ会長 飯田 淳子さん



「地域に開かれた病院にしたい」という市立四日市病院のソーシャルワーカーの熱い思いに打たれ、平成9年にボランティアを立ち上げました。来院される人に少しでも心地よく思ってもらえるよう、現在約30人のメンバーが「さわやかな笑顔でさっそうと」をモットーに、病院内の案内やリハビリ送迎などを行っています。今回の改修でも、「院内の案内表示を分かりやすく」「視覚に障害のある人のために、エレベータの音声案内を」など、普段の活動で気付いた、患者さんの目線で不便と感じていたことの改善が取り入れられており、うれしく思います。

こんな取り組みも行います

- 新 認知症の高齢者が住み慣れた地域で共同生活しながら介護を受けられるためのグループホームの整備に…………… 9,000万円
- 新 精神に障害のある人への医療費助成の拡大に(精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの人の医療費)…………… 895万円

子育て支援を行います

小学校6年生までの医療費の助成

〈予算額〉6億1,000万円

これまで、小学校に入る前までの子どもを対象としていた医療費助成を、平成23年9月診療分から、小学校修了前までに対象年齢を拡大し、助成しています。

■中部西小学校の入学式で伺いました



子ども2人分の医療費が掛かるので助かります

おかしいなと思ったときにも、悪化させることなく病院に行け安心です

■こんな取り組みも行います

- 民間保育所の新設(予定地:海蔵地区)や大規模修繕への補助に…………… 1億8,597万円
- **新** パパの子育て支援事業に…………… 261万円

産業支援や道路整備を行います

生活に身近な道路の整備

〈予算額〉4億9,200万円

地域ニーズの高い生活道路を整備するため、市内の全24地区で地域の皆さんが主体となって優先順位を決めた工事箇所から整備していきます。

■こんな取り組みも行います

- **新** 市内の中小製造業者が、海外で開催される見本市などへ出展する費用などの支援に… 500万円
- **新** 地域経済の活性化と市民の皆さんの居住環境の向上に(市内の建築業者による住宅のリフォーム工事費用の一部助成)…………… 2,000万円
- 幹線道路のネットワークを円滑に機能させるため、地域間を結ぶ産業支援道路の整備に…………… 8,000万円

教育のまち四日市を目指します

中学校1年生30人学級の実現

〈予算額〉5,052万円

小学校を卒業した子どもたちがスムーズに中学校生活になじめるよう、本市独自の取り組みとして、中学校1年生を30人以下のクラス編成とします。

■常盤中学校教諭 内藤 久嗣さん

小学校とは違い、中学校では教科ごとに指導者がかわるので、複数の先生とのつながりを築くことに戸惑う生徒もいます。また、部活動などで先輩・後輩という新たな関係ができるなど、学校生活が大きく変化します。そのような中、30人学級であれば生徒もゆとりを持って人間関係を築いていけると思います。また、教員も余裕をもって生徒に接することができ、不登校などの問題が表面化する前に、生徒が悩みを抱えていることに、ちょっとした様子の変化から気付くことができます。



■こんな取り組みも行います

- 不登校やいじめ問題などに対応するためのスクールカウンセラーや心の教室相談員の配置などに…………… 2,540万円
- 国語、数学、英語などの少人数授業や教育アドバイザーによる若手教員などの指導力向上に…………… 1億3,300万円
- **新** 四日市こども科学セミナーの開催に… 102万円

■水沢地区連合自治会会長 堤 武さん、 副会長 新 仙市さん、書記・会計 田中 武満さん

水沢地区では、地区内12町を3つに分け、そこに連合自治会を加えた4つのグループで毎年順番に道路整備を行う場所を決めています。12町それぞれで希望を言うのではなく、地区を4つに分けることでまとまった工事ができていると思います。昨年は、通学路でもある地元で大切な道路の道幅を約300mに渡って広げたり、舗装をきれいにする事ができました。道路整備が身近な問題になるとともに、自分たちのまちのことをより考えるようになったと思います。



昨年度に整備した道路
(右から堤さん、田中さん、新さん)

まちの魅力を創造・発信します

新 第1回全国ファミリー音楽コンクールの開催

〈予算額〉650万円

「家族」と「絆」をテーマにした全国公募の音楽コンクールを開催します。「産業と文化が調和した、魅力的なまち四日市」を創造し、全国へ発信していきます。

■全国ファミリー音楽コンクール実行委員会委員 四日市交響楽団団長 水谷 達さん

高校時代に友だちに誘われて入ったブラスバンド部でホルンを始めました。大学2年生の時に設立された市民オーケストラ「四日市交響楽団」に参加し、現在は団長を務めています。音楽なしでは生きていけないほど、生活の一部になっています。

全国ファミリー音楽コンクールはその名の通り、「家族」「絆」コンセプトとなっています。最も絆の深い家族と一緒に音楽を奏でることで、温もりや仲の良さもアピールしてほしいと思います。また、練習のために家族で集まり、時間を共にすることで、音楽がコミュニケーションのきっかけになればと思います。ぜひ、ご参加ください。



■こんな取り組みも行います

- 四日市独自の魅力を全国に情報発信し、集客交流による経済効果創出を図るため、観光推進事業に…………… 1,113万円
- 首都圏での四日市の魅力発信や地元製品の宣伝・販売など、シティセールスに…………… 600万円

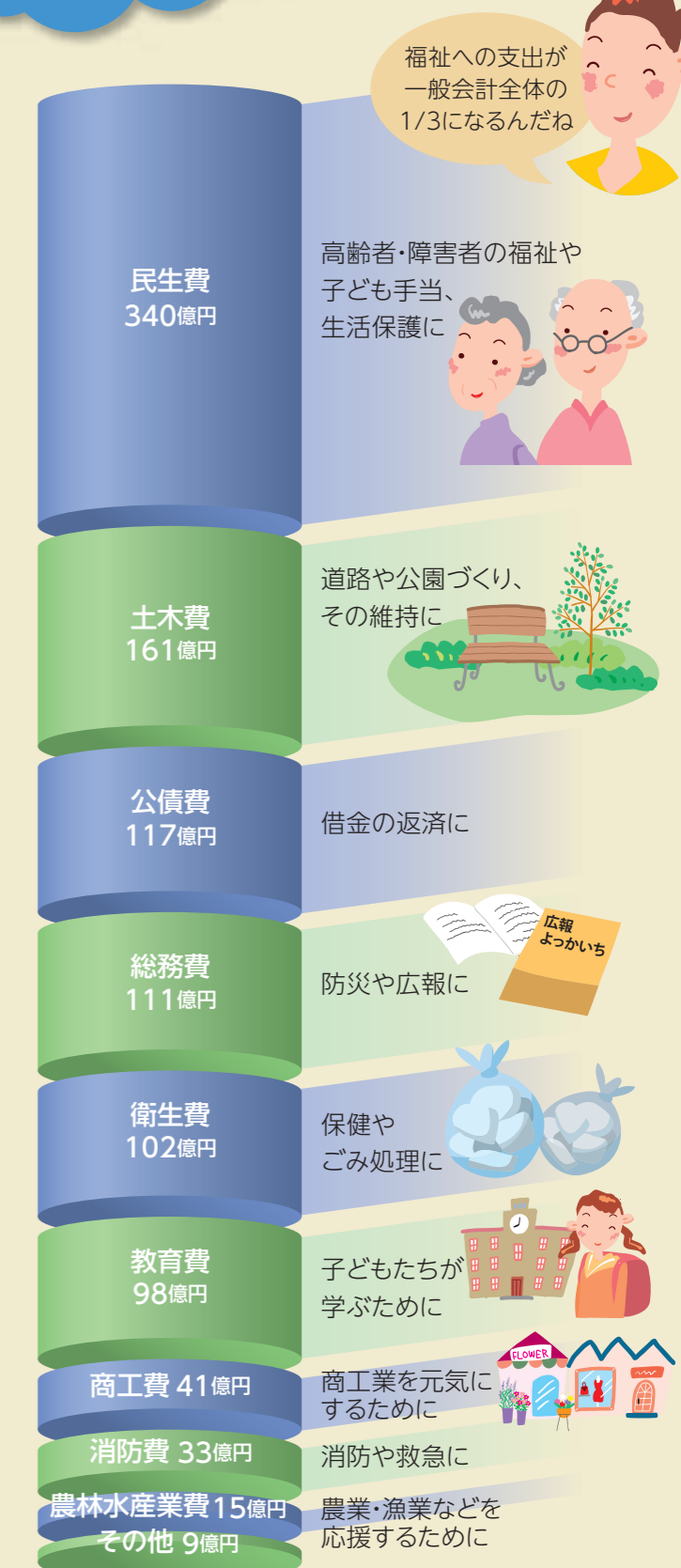
まだまだ こんな取り組みも 行います

- **新** 市民のかかりつけ医の推進に(子ども救急ハンドブックを作成し、かかりつけ医を持つことを推進します)…………… 500万円
- がん検診の推進に(無料クーポン券などの配布によるがん検診の啓発を行います)… 6,488万円

支出の内訳は?

一般会計 歳出

1,027億7,400万円



福祉への支出が一般会計全体の1/3になるんだね

高齢者・障害者の福祉や子ども手当、生活保護に

道路や公園づくり、その維持に

借金の返済に

防災や広報に

保健やごみ処理に

子どもたちが学ぶために

商工業を元気にするために

消防や救急に

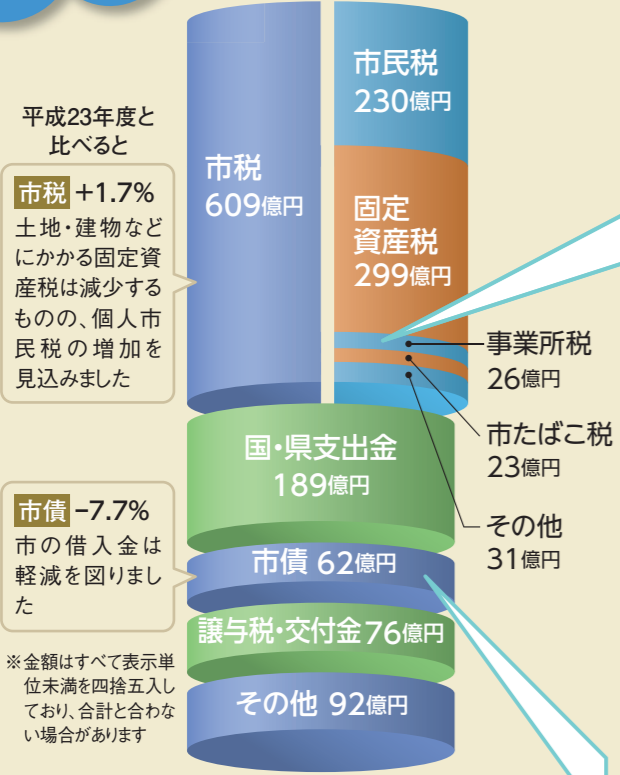
農業・漁業などを応援するために

※金額はすべて表示単位未満を四捨五入しており、合計と合わない場合があります

防災・教育・道路づくりなど、幅広く予算は使われるんだね

これが市の収入の実情です

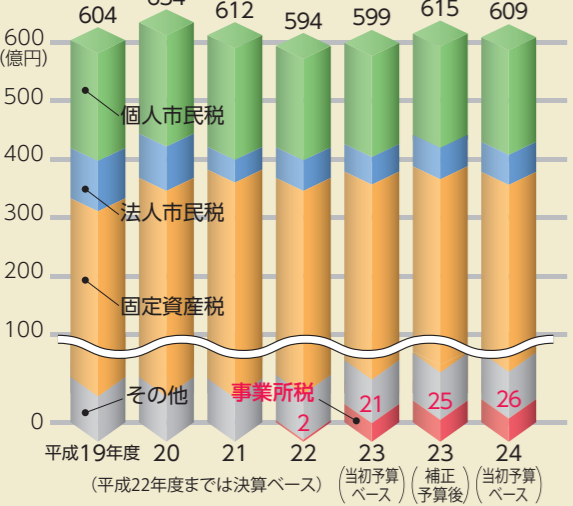
一般会計 歳入
1,027億7,400万円



平成24年度 歳入の特徴

- 四日市市の場合、歳入の約6割が市税
- 固定資産税の収入が最も大きく、その中でも、四日市市では、事業用資産にかかる償却資産税の割合が大きい
- 世界的な経済不況の影響で、平成21、22年度の市税は大幅な減収となったが、四日市市では、平成22年8月から始まった事業所税で平成23年度は、増収となった
- 平成24年度予算は、市民税・事業所税で増収が見込まれるため、平成23年度の当初予算と比較して市税全体では10億円(1.7%)の増

市税収入の推移と内訳



平成22年8月から始まった新たな市税

事業所税

人口や企業の集中に伴って必要になるまちづくりに使われる税金なんだね

事業所税は、人口30万人以上の都市に立地する一定規模以上の事業所に対する税金です。市内の納税義務者は約800社(者)です。

平成24年度 事業所税の使い道

東日本大震災を受け、まず、防災力を強化するための取り組みに配分しました。

- 「防災対策」へ…………… 1億4,570万円
防災倉庫の整備や防災行政無線の整備など

そのほかの取り組みでも事業所税を生かしています

- 「福祉施設の整備」へ…………… 9,320万円
民間保育所の新設や大規模修繕への補助など
- 「廃棄物処理施設の整備など」へ… 2億8,450万円
新総合ごみ処理施設の整備、埋め立て処分場の整備など
- 「道路や交通施設などの整備」へ… 9億90万円
産業道路や生活道路の整備など
- 「公園の整備」へ…………… 4,520万円
公園の遊具や駐車場の整備など
- 「下水道の整備」へ…………… 4億5,650万円
下水道企業会計への繰出金など
- 「教育文化施設の整備」へ… 7億1,980万円
河原田小学校・富田中学校の改築、小学校体育館、吊り天井落下防止対策工事など

気になる市の借金は?

一般会計での借金(市債残高)は859億円。特別会計なども含めた、四日市市の借金総額は、2,100億円。それを人口で割ると、一人当たりどれだけの借金があるか分かります。



これだけのお金を一人ひとりが負担していくのね

市民一人当たりの借金額
約67万円

〔四日市市人口:313,683人 (平成24年4月1日時点)〕

何のために?

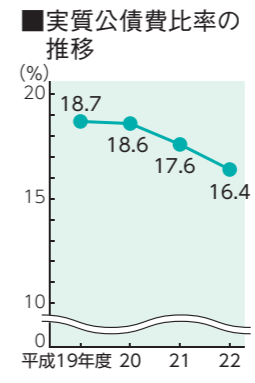
学校の建設・増改築、道路・公園の整備など、将来の市民にも公平に負担してもらうため、分割払いをしています。これが、市の借金=市債です。24年度は、新総合ごみ処理施設の建設のために2億1,320万円、小・中学校の施設の整備のために8億2,130万円など、将来のまちづくりに必要な額を借り入れています。

返済状況は?

近年、改善してはいますが、まだまだ厳しい状況です

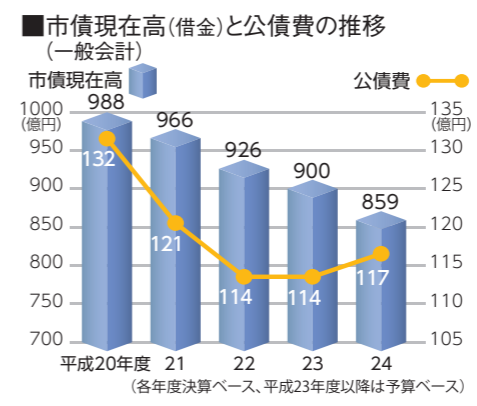
実質公債費比率でみると

市が安定して得られる収入のうち、どれだけ借金返済にあてているかの割合(実質公債費比率)でみると、本市は18%未満で、基準内ですが、国平均(10.5%)、県平均(11.5%)と比べると悪い状態です。※実質公債費比率は、18%未満が健全な財政だとされており、18%を超えると、新たな借金には県知事の同意が必要になります。また、25%を超えると一部の借金に制限ができ、35%を超えると制限が大幅に増えます。



市の借金を徐々に減らしています

「借金返済額(元金分)以上には借り入れない」という方針のもと、借金残高を徐々に減らし、財政の健全化を目指しています。

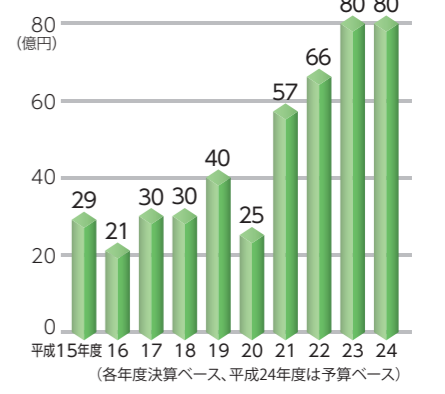


ところで…市の貯金は?

市の貯金は、徐々に増えています

災害など、予測できない支出に備えたり、年度間の財源の不均衡を調整するためなどに積み立てる市の貯金は、徐々に増えています。

財政調整基金積立額の推移



特別会計・企業会計など

	取り組み内容	予算額(億円)	対前年度比	一般会計からの繰入金(億円)
特別会計	競輪事業	165.7	+9.9%	0 (1億円を一般会計へ繰り出し)
	国民健康保険	288.6	+3.5%	16.9
	食肉センター食肉市場	5.5	+2.0%	3.6
	介護保険	182.4	+10.3%	26.2
	後期高齢者医療	48.0	+9.9%	25.8
	その他	29.3	+15.9%	8.2
企業会計	水道事業	100.8	+1.4%	0.2
	病院事業	217.6	-12.4%	12.7
	下水道事業	247.1	+10.4%	69.3
財産区	桜財産区	0.4	+4.0%	0

※金額はすべて表示単位未満を四捨五入しており、合計と合わない場合があります

特集後記

「難しそう」とわれがちな予算の特集を、興味を持って読んでいただくにはどうしたらよいか悩みました。まず知りたいのは、「今年の予算が自分や家族、地域に、具体的にどう関係するか」ではないかと考え、身近な取り組みを取り上げながら、関わりのある市民の皆さんにも登場いただいて今年の予算を紹介することとしました。また、四日市市の収入の特徴や気になる借金もクローズアップしました。今回の予算の特集から、市の取り組みやまちづくりにぜひ興味を広げていただければと思います。(財政経営課 中村、広報広聴課 多賀)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は 財政経営課 ☎354-8130 FAX 359-0275

広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974